

広報



かわにし

昭和 63 年 1 / 10 No.353

〒948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き

— 1月1日現在 —

男	4,625 (-4)
女	4,755 (+1)
計	9,380 (-3)
世帯数	2,286 (-1)

() 前月比較

迎春



▲ 10月に嫁いだ花嫁さんの3組合同
結婚披露宴 (62. 11. 1 松葉荘)

◀ 南の国から、4人目の花嫁サリー
さん (62. 12. 18町長室)



休日救急医

1月15日 山口 医院(下 条) ☎55-2003

17日 大坪 医院(四日町) ☎57-6100

24日 中条 病院(中 条) ☎57-3018

31日 富田 医院(神明町) ☎52-3269

2月7日 大島 医院(川原町) ☎52-2957

11日 山口 医院(下 条) ☎55-2003

議 会 報 告

町のリゾート構想は

柳 藤 作 議員

町は県段階でのリゾート地域内に指定された。次の点について町長のお考えを伺いたい。
(1) 指定を受けるにあたっての総合的構想は。

十二月二十四日から二十六日まで、第七回町議会定例会が開かれました。
二十四日は、六人の議員による一般質問に続き、税条例の一部改正などが審議されました。翌二十五日は、六十一年度の一般会計と、八つの特別会計決算が認定されました。
最終の二十六日は、第四次町総合開発計画基本構想（変更）、補正予算八件などのほか、国保制度の改革に関する意見書などの提出について議決されました。以下、一般質問を中心に、その概要を報告します。

（開発業者）などからの引き合いもある。

(2) 指定地域内の総面積が、国の指定基準十五ヘクタールを上回っている。当町は、最終的に除外されないだろうか。
(3) リゾート開発に、町が提供できる土地はどのくらいあるのか。
(4) 住民の活力をいかに取り入れてゆくか。

(5) リゾートに対応する機構改革を考えているか。
(6) コンサルタント依存だけでは、対応できなくなると思うが。

南 雲 町 長

(1) 指定を受けるに当たって、町としての構想はもうあった。重点整備地域にはなりえないかもしれないが、長期滞在型リゾートを補完する立場の「ふれあいリゾート・川西」と称する整備構想で、大手のデベロッパー

(2) 県は、現在指定の十四市町村という基本方針は変更しないと答えている。町としても早い機会に独自の構想をまとめる努力が必要と考えている。
(3) 現在、平たん地は農地と宅地、山は植林といった開発が進められている。苗場山ろくなどとは比較できないが、良い所もかなりあるのでは、と考えられる。目下、調査を進めている。
(4) デベロッパーだけの立場での開発は難しい、住民、行政それぞれの立場での協力は必要だ。具体的な事業が鮮明になった時点で対処したい。可能な限り早い時期に、と認識している。
(5) 進出するデベロッパーなどが判然としない現段階では、もう少し経過をみたい。
(6) 構想は大胆でかつ細心なものが必要と考える。町の総力を結

集して、県の指定を無駄にすることのないようにしたい。具体

仙田の振興に物産会館を

上 村 広 治 議員

① 議員研修会で山形県に行ってきた中で、町でも実施したらよいものを一点申し上げて町長の見解をおききたい。

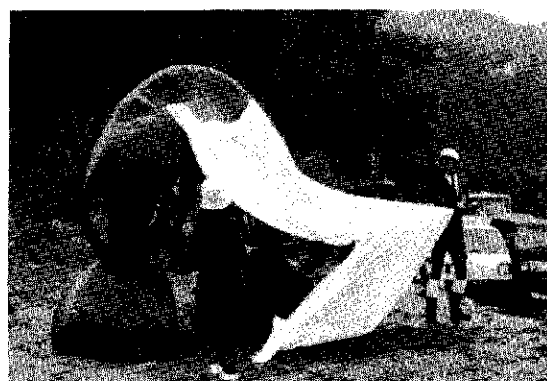
(1) 町の山林は、上質的に杉の植栽には最適といえない。ワラビを栽培してはどうか。

(2) 大自然の中で家族連れやグループでレジャーを楽しみ、健康を増進する施設を創ろうという事業が、六十年代全国三〇カ所で指定されている。

町でも、節黒城しを中心として計画する見とおしはないか。

② 人口減少がもっとも著しい仙田地区の今後の振興策として
(1) 国道252号と同404号が交差する地点（仙田地区童子ヶ島）は、観光リゾート面から活用できる可能性を秘めている。仙田地区振興の拠点として、物産会館建設などの構想はないか。
(2) 新定住事業もシステムキー以外にその成果がない。地区振興策と関連して町長のお考えは。

化する段階には、相談したい。



町行造林500ha達成・林道3路線開通記念碑（野口）

南 雲 町 長

① (1) 町行造林五百ヘクタール達成を機会に、来年度から杉以外の植栽に着手したい。ケヤキ、キハダなどを考えている。ゼンマイは、新定住事業の中で協議しているワラビ園も含め検討を進めたい。

(2) 運輸省の事業として、五十三年度から進められており、全国で二三カ所に開設されている。現時点では、町は申請していないが、この指定条件に合致するか照会中であり、OKとなれば、精査して行動したい。

② (1) この附近の農業関係外の開発は、新農構によって整備された近代化施設、土地基盤整備地区などが集中的に存在するなか、補助金を受けて整備されたことから、さまざまな制約下におかれている。農協仙田支所の建設予定地も同様の補助で、ライスセンター用地として造成した場所であり、いまのところ用途変更は難しい。農林水産省の補助

404号

新トンネルの影響は

登坂 茂議員

- ① 国道404号改良工事の促進
(1) 岩瀬部落内約七〇メートル間の拡幅を望む。
(2) 仮称白倉トンネルが、大池の真下を通ることになる。水不足対策と法線計画に配慮を。
- ② ワラビ島農道終点と、町道大白倉向山線の一帯を、地すべり地域として追加認定し、合わせて道路改修を願いたい。

南 雲 町 長

① 予定のトンネルは、大倉の三差路から大白倉の通称五百地を結ぶ、全長七九〇メートル、全幅八・五メートルの計画である。工費約二十億円、完成はかなり先に及ぶものと予測される。

制度にのることのできる事業の選択を優先的に考慮しながら、開発構想を進めたい。
(2) これまで実施した事業は、生産性の向上、コストの低減など所期の成果があった。不安定兼業農家の解消、複合経営の強化ということから、山菜園の造成などを始め、住民の意欲を喚起しながら取り組みたい。

(1) 今年は、段切り工事を進めており、まもなく終わる。引き続きトンネル工事も始まる訳であるので、県と十分協議し危険箇所は、安全対策をするよう要望する。

(2) 県の地質調査結果では、大池周辺は、不透水層ということである。しかし、水の枯渇の心配は実際工事をしてみなければ完全とはいえない。大池の水を含め、周辺の湧水がどのように変化するか、総合的に検討してみる必要がある、と考える。

② 両町道の接続は、一連の地すべり工事の資材運搬路として開削できると考えられる。早急に県と話し合う。

改良された404号

(12・21岩瀬地内)

堆肥センターはどに、だれが

柄沢 悌二議員

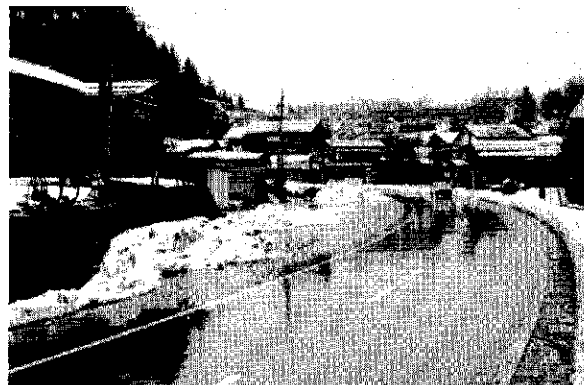
六十二年度建設予定の堆肥センターの具体策をおたずねしたい。

- (1) 堆肥センターの設置場所、施設の規模と処理方法は。
- (2) 建設資金の負担と施設の運営管理は、どうするのか。

南 雲 町 長

堆肥センター構想は、地力の増進、良質な農産物の生産のための基盤づくりの一環として推進したい。

(1) 場所と規模は、目下、役場、農協、養豚農家、酪農家でプロ



ジェクトチームを編成し、検討中である。原材料、副資材の質と量、運搬方法、販路の検討、またコストや二次公害などの課題処理など、熟度の高い研究の積み重ねが求められている。

建設費は、農林水産省の補助制度の中から、場所の選定も合わせ検討している。施設規模は、年生産量千トン規模を想定しており、処理方法は高速堆肥化方法で袋詰めとバラ製品を供給したい。

(2) 資金は、極力有利な補助制度にのるという前提で、町で手当てしたい。管理運営は、農協を含めた農業団体をお願いしたい。場合によっては第二セクター方

口座振替制度導入を

平野 正義議員

納税を直接各世帯ごとに、口座振替制度を導入してはどうか。

南 雲 町 長

なるべく早い時期に導入しなければならぬと考える。しかし、指定金融機関との契約や納

式などもありうるのではないか。六十三年度では約三千平方メートルほどの用地取得と最終的な設計委託、公害対策の調査など、事業着手の年にしたい。完成は六十四年度というスケジュールである。

千手養豚団地 (6.13)



入義務者の同意など準備期間も必要だ。町税だけでなく、各種納入金についても、同一の取り扱いをすることが、より効果的である。電算委託の、元化が現在進められている。この完成した時点での、口座振替制度導入が最もよいと考える。

期待する活性化センターは

田口直人 議員

① 地域活性化センターの施設内容は、どのようなものと考えておられるか。活性化の核となるべく対策室と職員の配置はどうか。

② 高倉国際村は、新住民が増えるきざしがあるのかどうか。今後の方策は。

③ 米飯給食の完全実施に対する来年度以降の計画を。

南雲町長

① 基本的な設計では、一階と四階が活性化センターであり、二階と三階は保健センターに利用する。一階を物産開発室と展示

室、四階は町の活性化を進めるための研修室に使用する。物産の開発には真剣に取り組み、現在までに、タニシのパック詰め、酒ケーキ、染め額、手づくりハム、キノコの缶詰などが上げられている。さらに研究を要するが、活性化センターは試験開発をする場所、学ぶ場所と考える。町としては、これらの活動が円滑に進むよう、指導支援する担当者を決めながら、資金面の援助も考慮したいと考えている。

② 現在、十八人の著名人が土地を所有し、建築された別荘などは十六棟と、民家利用二棟である。来年新築したい人も一人い

る。町では、成人式の講演を交代でお願いするなど交流を図っているが、一時期にくらべるといささか疎遠になっている。これらの回復は考えたい。高倉集

落の過疎化や小学校の閉校により、心配する声も聞くが、小学校の屋内体育館を管理しやすいように改善するなどした。また旧教員住宅も大学教授からお買い上げいただいた。静かながら、別荘村的な胎動はいまも続いていると思う。リゾート構想と関連づけながら、長期に滞在し、楽しめるように、テニスコートやプールなども整備し、松葉沢や中子総合緑地公園などとともに、町民とのふれあいを深めながら活用できるように進めるべきものと考えている。

③ 米飯給食の拡大は、現行全国平均週二・二回、これを二年で三回に増やしたいという計画だ。町はすでに週三回を実施している。

宮教育次長 米飯を多くするということは調理員の増員がともなう。せめて週四回という基本的な考えはもっている。しかし、現在の三か所での調理場から、二か所という共同調理場問題との兼ね合いで、その構想をにらみながら取り組みたい。

(以上質問順に掲載)



役場裏に建設が進む保健・活性化センター (12.21)

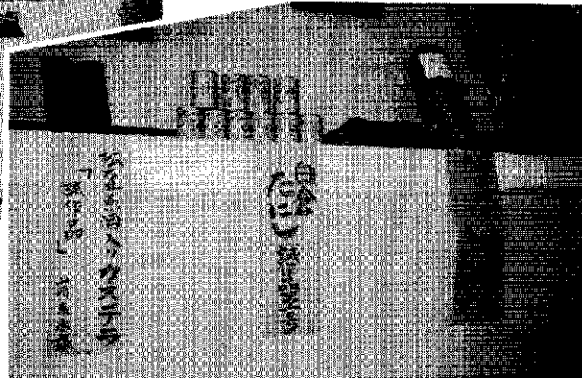
自慢料理がずらり

12月13日、町商工会むらおこし実行委員会主催の「ふるさとの味、わが家の自慢料理会」が商工会館で開かれました。

出展された料理は、その家庭の味として伝えられている「漬物」「なら雑炊」「粉豆腐」や、「柿のブランデー漬け」「洋風いもあんぷ」「変わり甘納豆」などといった44点が並べられました。

特に賞は設けない自慢料理会でしたが、「これは…」といった料理の前では、作った人に作り方や材料の質問があるなど、活発な交流もありました。

町の料理屋の主人は「長年、各家庭でつちかった熟成したものも多く、参考になるものもあり、さらに研究したい。プロが使うには、もう少し素朴なものがよいのではと、感じた」



▲ 懐かしいー珍しいーうまそう。

会場に展示された新特産品 ▶

第 4 次町総合開発計画



審議をつくしてまとめられた計画書が
押木会長から南雲町長に手渡されました

うるおいある
豊かで
活力ある町づくり

十二月十二日、総合センター
で町総合開発計画審議会が開か

れました。

十一月九日に町長から諮問を受けた同計画の改定について、延べ八回の審議を経て、まとめた答申書が、押木元男会長から町長に渡されました。

今回、六十三年度から六十六年度までの四年間の計画を見直し改定しました。

計画書は「現況と課題」を分析し、「計画」を立て、「おもな事業内容」を具体的に表し、「国県等への要望」を付け、各項目ごとにまとめたものです。

答申書を受けた町長は「いただいた答申は、もろだくさんという印象をうけました。これを百パーセント実現して欲しいという要請でありますが、実現困難なものも考えられます。しかし、これからの町発展のためには、これの完全実施の覚悟をあらたにしています。いろいろな審議を経て実施しなければならぬ。」と語りました。

63 年度 農業標準賃金

男子 6,000 円
女子 5,500 円
(1 日当たり)

農業委員会では、今年 4 月 1 日から適用の農業標準賃金を決めました。

これは、あくまでも標準賃金です。作業の内容などにより、頼む人、頼まれる人がお互いに納得のうえで、対応してください。

十二月二十六日、県から来年度の転作目標面積などが配分内示されました。

転作目標面積

161.7 ha

減反上乘せ数量

95,900 kg

(面積換算 19.7 ha)

合計 181.4 ha

(前年対比 12.25 % 増)

転作目標面積が内示

5 メートルの門松

上野商工会青年部が中心になって、上野の県道両側にジャンボな門松を立てました。

新年を迎えるにあたって何かよいことをと

いうことから、一杯飲

んだ時に話がまとまったということでした。



はせ

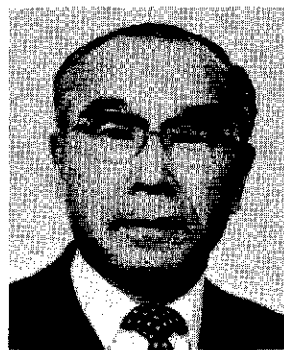
三賀状 &

春インタビュー

今年も、町長と議長から町民の皆さんへ、直筆の年賀状を書いていただきました。

町には、辰（タツ）年生まれの、年男年女の方々が七九六人（63・1・1現在）おります。全町民のおよそハパーセントにあたります。

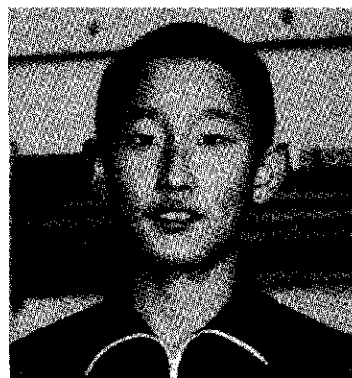
そこで今回、輝かしい新春にあたりタツ年で、それぞれ一月一日生まれか、その年の一番早い日に生まれた方を選び、ご登場いただきました。



川西町長 南雲春雄

慶雲飛祥

昭和三十三年元旦



星名弘文さん（木島）

S 51・1・1生（12歳）

小学校の一番の思い出は、陸上大会と野球大会です。今年は中学生、体育が好きなので、野球部に入ってがんばろうと思います。



五十川英晴さん（沖立）

S 39・1・1生（24歳）

雪が少ないことを希望します。仕事も忙しいですが、家ではパソコンをやって楽しんでいきます。今年はワープロを始めてみたいと思っています。



高橋正一さん（中仙田）

S 27・1・1生（36歳）

去年は子供が交通事故にあいかわいそうでした。家族全員が健康でよい年に願っています。角万寺で子供とスキーを思いっきり楽しもうと思います。

今藤ハルさん（上野）

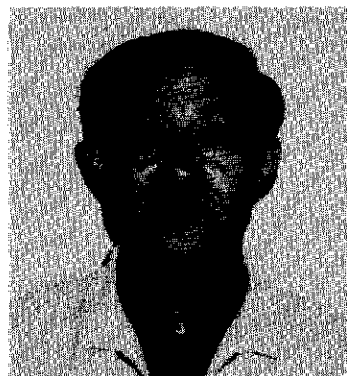
S 15・1・2生（48歳）

自分の干支（えと）なので、去年以上にがんばりたいです。家では絹糸のよりをやっています。仕事もたまえまなくあり、健康で続けてゆきたいです。

清水幸夫さん（木島）

S 15・1・2生（48歳）

一年間順調に進んで欲しいです。忙しいけれども健康でいられればよいと思います。人に遅れないように、がんばりたいです。



タビ

町長・議長の
年男・年女に



高橋シヅさん(上町)

S 3・1・1 生 (60歳)

孫のなつ紀が去年八月に生まれ、五か月になります。日毎に成長していくのが楽しみです。家族が和合をよくし、体を大事にと願っています。

南雲 博さん(田中町)

S 3・1・1 生 (60歳)

J R工事の最盛期、新十日町橋関連の工事などで、地域がよくなる年と期待しています。厳しい環境の農業にとっては、再認識のときだと考えられます。



高橋シゲノさん(発電所通り東)

T 5・1・1 生 (72歳)

去年は、お天気回りがよくて、白菜や大根などいいものが採れました。体のために畑仕事はよいと思います。今年も家族の食べる野菜を作るつもりです。



小林テルさん(神社町)

S 3・1・1 生 (60歳)

景気がよくなるように願っています。病気をしないように丈夫で元気でいたいのです。何か自分の楽しみを見つけられればよいと思います。



根津吉太郎さん(原田)

T 5・1・1 生 (72歳)

町の産業はまず農業だと思っています。一生懸命、農業に精がだせるような、住みよい町、楽しく生活できるところになって欲しいです。



清水デンさん(上野)

M 37・1・4 生 (84歳)

楽しみは、まめで年金をいただくことです。十五年も薬草や、卵の殻をいって飲んだせいか、足や腰が痛いということはありません。



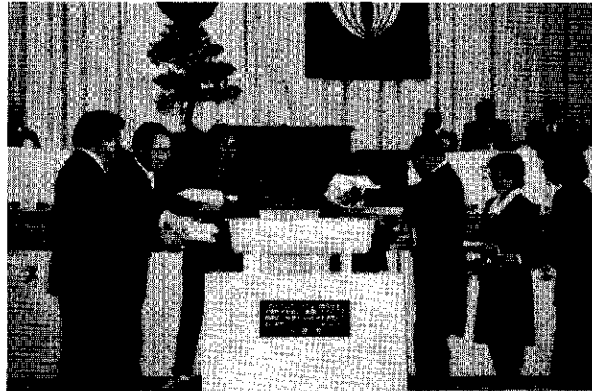
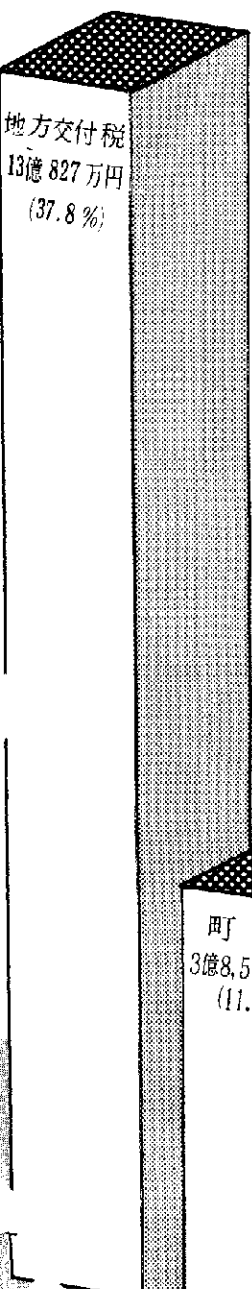
去年

元旦

押本元男

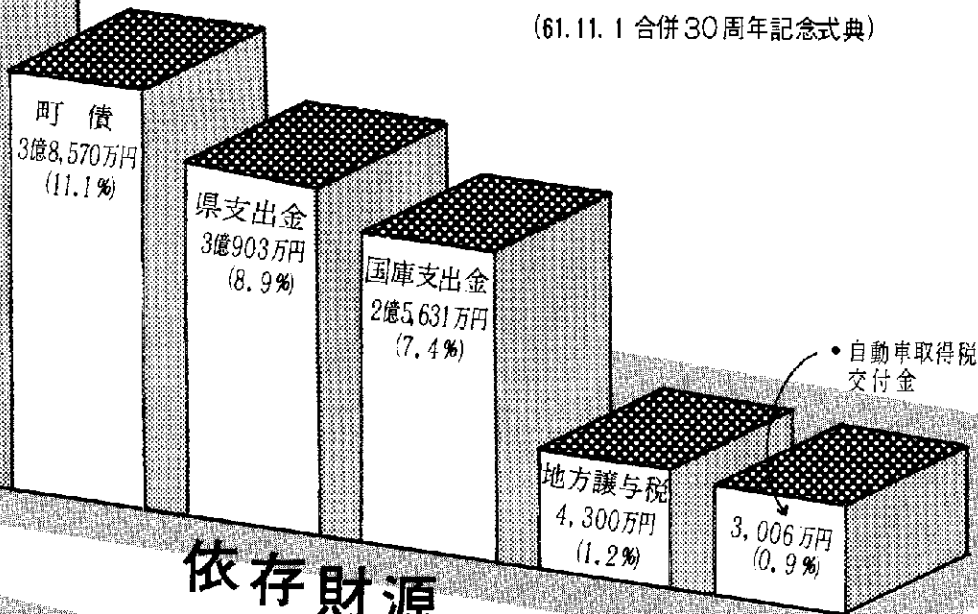


決算

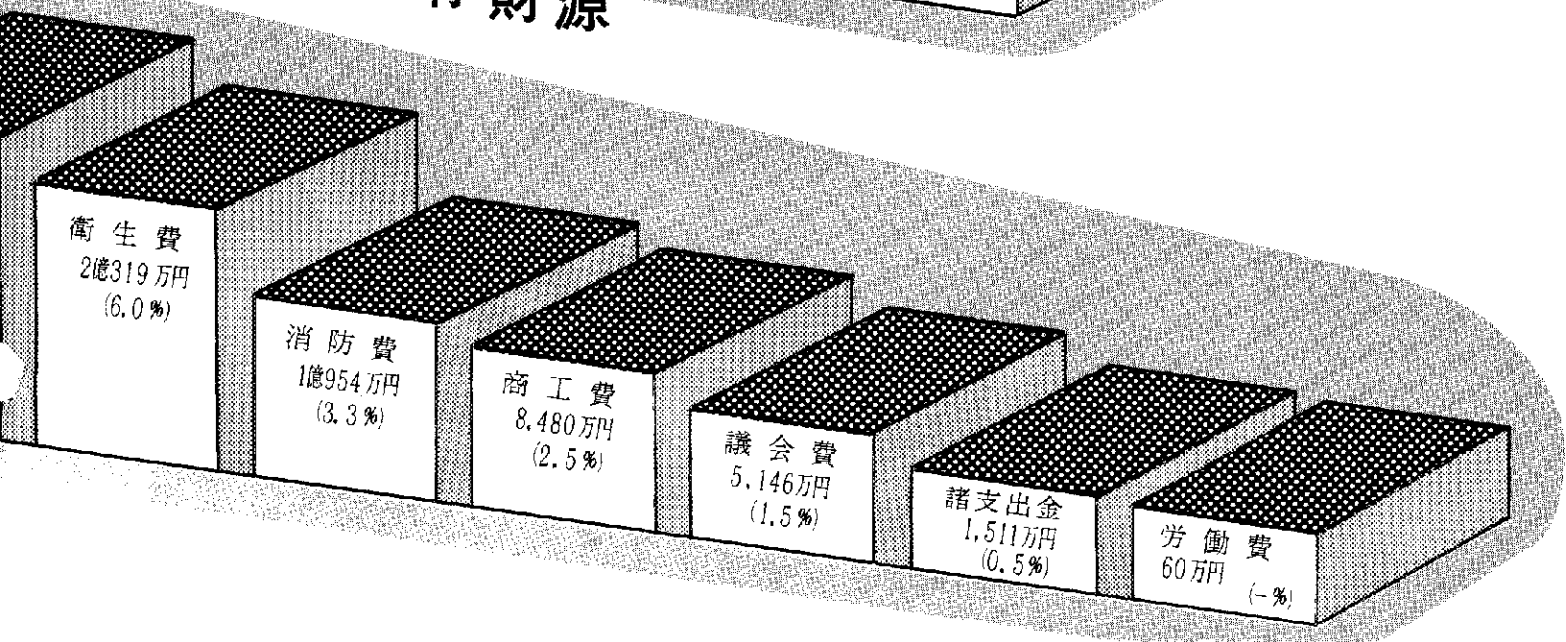


10年後に開かれるタイムカプセル
(61.11.1 合併30周年記念式典)

昭和六十一年度の決算が、十二月の第七回町議会定例会で認定されました。この決算は昭和六十一年四月一日から六十二年三月三十一日まで、お金がいくら入り、そのお金をどのようなに使ったかをまとめたものです。今回、一般会計決算の概要をお知らせします。



依存財源





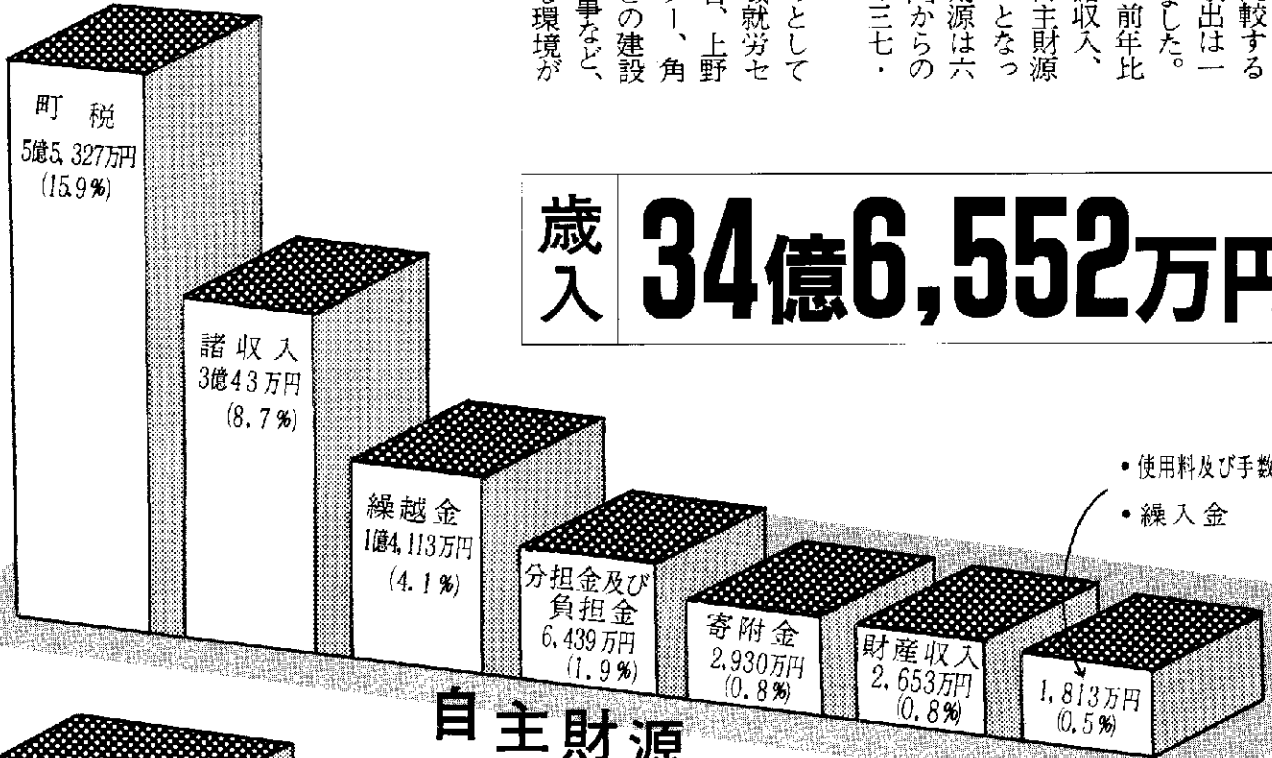
家族づれでにぎわう角万寺スキー場 (61.12.14オープン)

決算額を六十年度と比較すると、歳入は一四・九%歳出は一七・二%の大幅増となりました。歳入の中では、町税が前年比四・二%伸びており、諸収入、繰越金などと合わせ、自主財源は歳入全体の三三・七%となっています。また、依存財源は六七・三%であり、特に国からの地方交付税は歳入全体の三七・八%を占めています。歳出の中でおもなものとしては、防災無線、仙田地域就労センター、上野小学校校舎、上野地区コミュニティセンター、角万寺スキー場管理棟などの建設や、新十日町大橋関連工事など、さらに快適に生活できる環境が着実に整備されました。

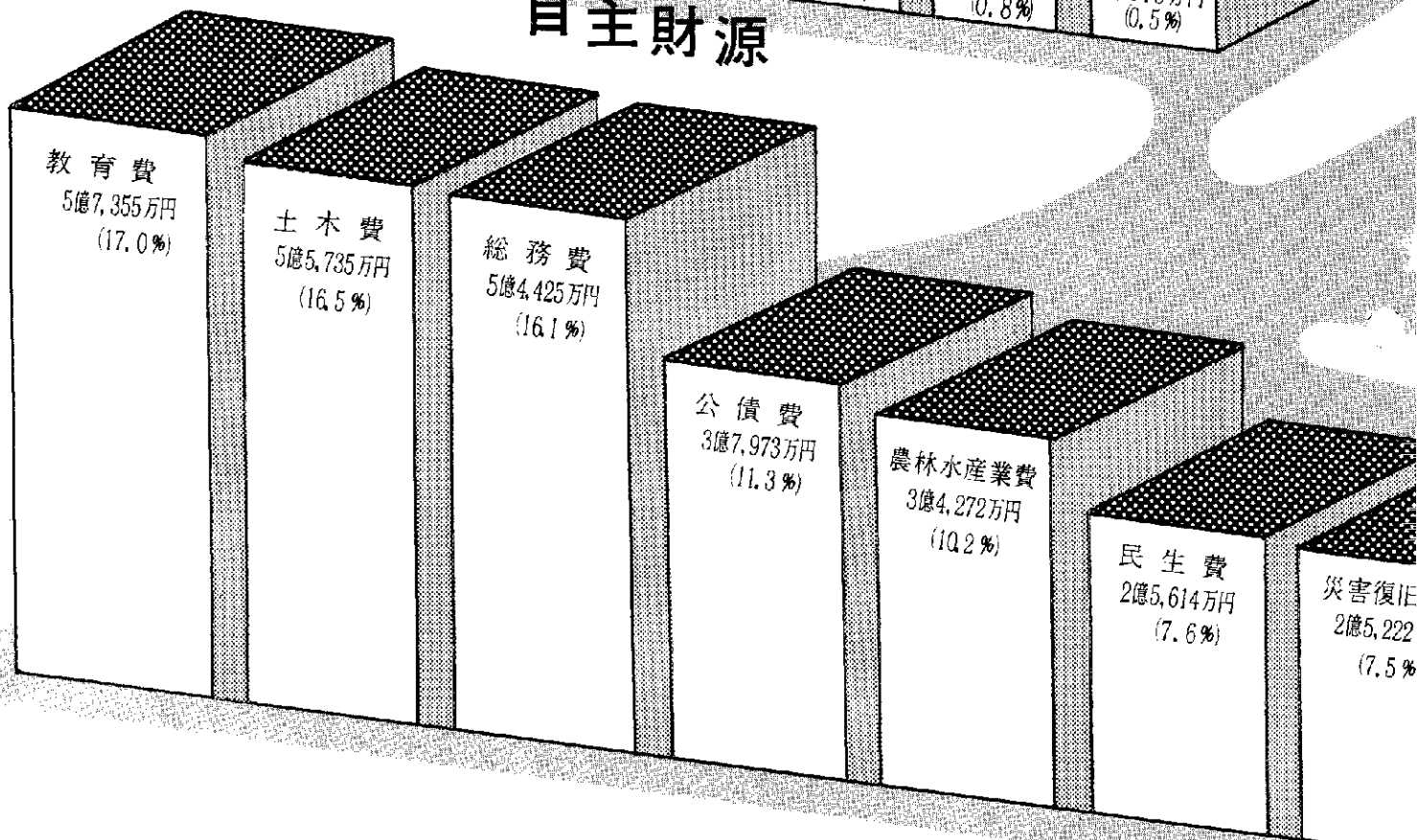
歳入

34億6,552万円

- 使用料及び手数料
- 繰入金



自主財源



歳出

33億7,064万円

1万円未満は四捨五入、カッコ内は歳入歳出それぞれ全体に占める割合です。

特別警戒

氷雨降る中

— 12月11日夜 —

防犯組合役員ら

12人が巡視

十二月十一日から一月十日まで、警察では年末年始特別警戒が続けられました。

町では、初日の十二月十一日夜七時半から南雲町長はじめ、防犯組合役員ら十二人が、署員の激励をかねて管内を巡視しました。

氷雨の降る寒い夜でしたが、一行の激励に警戒体制も一段と引き締まった様子でした。



河川の美化活動で

県知事から表彰

去年十二月十五日、河川愛護会（柄沢悌二会長）が、信濃川の清掃や美化活動の功績が認められ、県知事から表彰されました。

この会は、かつて上新井水害

予防組合、川辺水害予防対策委員会、橋水害予防組合が、町村合併を機に昭和三十三年九月、

川西町水害予防組合として組織統合したのが、その前身です。年々、信濃川堤防が整備され、本来の水防活動から川を守る、河川愛護精神に重点がおかれるようになりました。

そして五十年九月、現在の名称に替わり、活動がつづけられています。

県警本部は、去年一月から八月まで、県内で発生した交通事故のうち、車（原付以上）を運転し、直接事故を引き起こした原因者（第一当事者）となった六一八二人について、生まれ年による干支別に分析した資料を発表しました。

その一部をご紹介します。

干支（えと）からみた交通事故

区 分 干支別 順位	免許人口 1万人当り 事故率	実 数			
		第一当事者	構成率 %	免 許 人 口	構成率 %
1 申（さる）	67.2	696	11.3	103,620	8.8
2 未（ひつじ）	62.8	672	10.9	107,090	9.1
3 午（うま）	57.3	556	9.0	97,015	8.3
4 辰（たつ）	54.6	543	8.8	99,511	8.5
5 酉（とり）	54.5	505	8.2	92,667	7.9
6 戌（いぬ）	54.3	478	7.7	87,968	7.5
7 巳（み）	52.6	531	8.6	100,923	8.6
8 卯（う）	48.2	465	7.5	96,546	8.2
9 丑（うし）	46.3	472	7.6	101,971	8.7
10 寅（とら）	44.7	437	7.1	97,774	8.3
11 亥（い）	43.9	410	6.6	93,497	8.0
12 子（ね）	43.1	417	6.7	96,681	8.2
計	52.6	6,182	100.0	1,175,263	100.0

この表は、大正元年(1912)から昭和46年(1971)生まれを対象としました。

子



〈男〉 A

- 火曜日は要注意。居眠り運転の事故が多発。
疲れを十分にとって安全運転を！

〈女〉 B

- 水曜日に多発。自転車との正面衝突事故が多く、右側通行の癖あり。

丑



〈男〉 A

- 休み明けの月曜日が危険日。
右左折の際の安全確認を忘れずに！

〈女〉 A

- 信号無視による死亡事故があり赤色は「止まれ」です。慎重な運転に心がけて……。

寅



〈男〉 B

- 評価基準はAだが飲酒事故（大トラ）が多いため、ちょっと厳しくB。
出勤途中は要注意！
ベストドライバーまであと一步。

〈女〉 C

- 金曜日は要注意。居眠り運転による事故多発。
更に慎重な運転を！

亥



〈男〉 A

- 土曜日に注意。
右折時の事故が多発。特に交差点では左右の安全確認を忘れずに。

〈女〉 A

- 追い越し中の事故が多く、週半ばの水曜日は要注意。
死亡事故ワースト1が残念！

卯



〈男〉 B

- 追い越し中の事故が多く木曜日は要注意。無理な追い越し事故のもと追い抜いた亀さん既にゴールイン。
急がずマイペースで！

〈女〉 A

- 火曜日が危険日。
右左折の際の安全確認にもっと気配り目配りを！

辰



〈男〉 C

- 飲酒事故の10人は、申年生まれに次いで第2位。‘乗るなら飲むな 飲むなら乗るな、金曜日に事故多し。

〈女〉 C

- 月曜日に多発。休み明けは気分を切り替えて慎重な運転を！
追い越し、左折の際の事故が目立つ。

巳



〈男〉 B

- 交差点では安全な速度で、左右確認を忘れずに！
追突事故による死亡事故多発

〈女〉 C

- 人対車両（対背面通行中）事故が多発。
歩行者への気配りも忘れずに慎重な運転を！

酉



〈男〉 C

- 譲り合いの気持ちに欠けるところあり。
車両単独事故ではワースト2で物件衝突が目立って発生。

〈女〉 C

- 木曜日に事故多発。
スピードオーバーは命取り。特に女学生諸君登校中の事故に気をつけて！

千支からみた ドライバーの特徴

6,182人について、男女別にその者の干支と事故内容を基に4段階の評価（A ランクが一番良い）をし、各干支ごとの特徴を探ってみました。

事故防止のアドバイスとなれば幸いです。

さて、あなたのランク付けはA、それともD？

申

ワースト1



〈男〉 D

- 実数、死亡事故ともにワースト1で評価は最低。
飲酒事故が12人と最も多い。
反省、しましょう。

〈女〉 D

- 男性と同じくワースト1で最低。
一時不停止による事故が多発。
※ 交通安全～見ざる 言わざる 聞かざるでは困ります。

未

ワースト2



〈男〉 D

- スピードの出しすぎに要注意。
上曜日に事故が多く、右折の際の安全確認を忘れずに！

〈女〉 D

- 週末の土曜日は要注意日。
ブレーキ操作ミスによる事故が目立って発生。

午

ワースト3



〈男〉 D

- 追突事故が目立って発生。
月曜日は危険日。特に慎重な運転を！

〈女〉 D

- サタデーフィーバー型。飲酒事故はワースト1。
※ 安全運転～馬耳東風になっていませんか？

はる
史
語

川西郷の農地改革 ②

岩瀬 金子 幸 作

大正期の小作争議

土地を持たない零細農民は、丹那（だんな）衆と呼ばれる地主から耕地を借りて小作した。小作をさせてもらうには、穫れた米の中から地主が要求するだけの年貢米を納めなければならなかった。

田の小作料は、収量一石（こく）一五〇キロ）について橋村がおおよそ二分の一、千手村、上野村、仙田村が三分の一の割合になっていた。しかし、この条件でもなお耕作希望者が多く、小作地のうばい合いにしのぎを

けずったようである。

十年代に入ると、小作制度改善の全国的な動きに呼応して、零細農民と地主が対立するようになった。その原因は、不作を理由とする小作料の減免要求がほとんどであった。地主に拒絶されると、延納同盟を組織して年貢米を納めず、行動も対抗的になった。マスカン（規定量に上乘せる分）廃止などの強い要求が打ち出された。

大正十四年（一九二五）における、川西郷四力村の小作争議を次のように知ることができる。

千手村で不穏な動き

霜条の小作農たちを中心に、前年から耕作放棄などの不穏な事態がおきていたが、県のあつせんで、八月六日に農政調査会を開き、次の事項を確認した。

①地主と小作の融合をはかり、共存共栄の実をあげる。

②今後、小作争議がおきたときは当局の手をわずらわさず、われわれ自身の手で解決する。

上野村では、千手の同士と合流した小作衆が、かなりの数にのぼったようである。伊勢平治

の観音様境内に集結し、全員が鉢巻を締めて氣勢をあげ、小作者の待遇改善を要求した。

観音様参りに来た仙田村のばばさたちが、この有様を見て早々に退散した。噂が広がると村の小作衆が刺激され、初秋の夜越ヶ沢の峠で有志が謀議することを決めた。ところが、駐在所に知れて不発に終わっている。

この年はさほどの災害、病虫害もなく、作柄はこのほか順調で村々は豊年満作にわいた。

橋村の村民大会

九月の十五夜を一日延ばし、十六日を祭日にして村民大会を開いた（十日町新聞）。

ひとりの小作人が、「オレた

ちは食うまもなく、休むまもなく、一日中田んぼで泥にまみれて汗を流す。夜は蚊に食われながら朝まで水番をする。この苦しみ地主衆は知るまい。ため池を補強するのも良いが、その前に公平な水番を置いてもらいたい」と気炎をあげた。

女衆は、家事や農作業の過重な労働を解くために、男衆の理解と協力を促した。この日は一戸が一人以上必ず出席するように決められ、三〇〇人の農民が参加して延々六時間の討議が続けられている。

郡地主会では、上米一俵（六〇キロ）について金五〇銭、中米四〇銭、並上三〇銭、並下一二銭の小作奨励金を出すことに

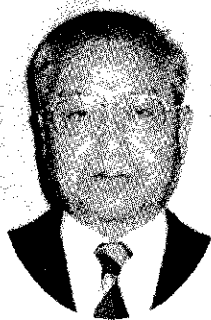
した。これとて他郡よりはるかに低い額であった。

小作衆の言挙げ

この時代の年貢米は、一俵が四斗四升（六六キロ）で計られていた。「これでは不合理だ、端数のマスカンをけずって四斗（六〇キロ）にしてほしい」と

いう願いが小作争議の焦点になった。とはいえ、警察官に無産党呼ばわりされ、地主のオトリににらまれると身のすくんだ時代である。こうした中でおこった川西郷の小作争議は、これまでもののいえなかった小作人たちが、丹那衆にはじめて言挙げした点で注目しなければならぬことであった。

郷土史の解明に専心



でした。ついこのあいだの気がしますが、タイトルも「町史の窓」から「歴史は語る」へと変わりました。

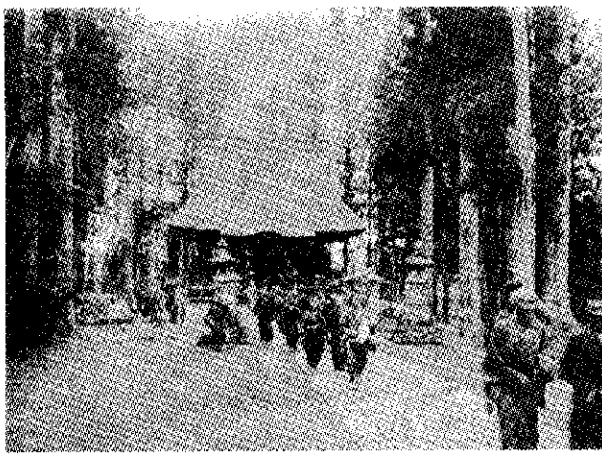
八年もの長いあいだ、毎号を意欲的に書かせていただけたのは、この欄をご覧くださいますみなさまの、あたたかい励ましがあつたからでございます。深く感謝しております。

歴史的事実の解明は、その時代はもちろん、当時を生きた人

びとの暮らしや考え方を実感として身に伝えてくれます。過去を追究する努力が、現代を理解し、あしたの指針を生むと申しあげたら過言でしょうか。

「川西町史」がめでたく刊行され、「こぼれ話」も八集を数えて終わりました。しかしなお、みなさまにお伝えしたい事項は枚挙にいとまがありません。

ことしもまた、うたかたの世を力いっぱい生きた先人たちの足あとを、可能なかぎり掘りおこしていきたいものと考えています。ご声援ください。



大正時代の千手観音堂（小海正太郎氏所蔵）
ここに千手や上野の小作人たちが集結した。

遠州・浜名湖

11月17日発

お出かけください

北浜市 山本 勝さん

(下平新田出身)



例年より温和な気候のようですが、十一月も中旬ともなるとやはり冷えます。

もう、八海山の山頂には、白い綿帽子が目見えしました。

しょうか。冬が近づくと一番思いつくのは、懐かしい郷愁を感じるの、魚沼三山が白く雪化粧した姿です。

さて、長い期間にわたって「広報かわにし」を送っていただきありがとうございます。ふるさとの動きが手にとるように浮かび、懐しきでいっぱいでした。いま、家を新築中でございまして、家内には落ち着いていますが、年内には落ち着けると思っています。その時点であらためて広報紙を送っていただくよう手続きをしたいと思っています。

ふるさとを出て、もう、二十五年になりました。遠州の生活のほうが長くなりました。それでもふるさととは、忘れるどころ

はいけい

ふるさと

さん

生家の屋号で

親睦深める

去年十二月六日、都内某鴨駅前「桃花源」で、第二回東京中仙田会（小林莊平会長）会員八十人が開かれました。

この会は、旧仙田村の在京者が集まる中で、その中心的な役割を果たしてきました。ところが、時代の流れから、仙田村出身者全員をまとめていくことが

困難になってまいりました。同時に、会員が減る傾向となってきました。そこで、三年前、改めて「中仙田会」として発足したものです。

当日の懇親会では、お互いに生家の屋号で、長蔵、五郎ぜん、弥助などと呼び合いながら、旧交をあたためていました。

同会では、今年五月の連休を利用して「ふるさとを訪れる会」が計画されています。



あいさつする小林会長

ねんきん

年金証書は大切に

か、その季節ごとに、より鮮明に脳裏に映り、思い出されます。それだけ、良きふるさとなのでしよう。

遠州地方も、浜名湖を中心にすばらしいところがたくさんあります。ぜひ、遊びにお出かけください。ご一報くだされば、ご案内いたします。

年金証書は、あなたが受給している年金の種類、年金証書の記号番号、年金額など、あなたにとって大切な事項が記載されています。

年金を郵便局で受け取る時には、窓口で年金証書を見せなければなりませんし、住所変更などの手続きをするときは、年金証書に書いてある年金の種類や証書の番号などが必要です。

年金証書は、あなたと生涯一緒に過ごす、パートナーなのです。大切に取扱ってください。

年金証書は、あなたの仲良しパートナー

月、四月、六月、八月、十月、十二月の年六回に変わりました。各月の支払日は、今月中旬に送付される昭和六十二年分給与所得の源泉徴収票裏面に記載されています。



旧法の老齢年金支払月は、今まで三月、六月、九月、十一月の年四回でしたが、今年から二

旧法の老齢年金支払月が変わります

新潟県史刊行のご案内

— 予約募集中 —

刊行巻の頒布価格

通史編 4	近世二	3,700 円
〃 5	〃 三	3,700 円
〃 7	近代二	3,700 円
〃 8	〃 三	3,700 円
〃 9	現代	3,700 円

(分売可、送料別)

既刊の29巻とも在庫があります。
ご注文ください。



申込先

〒950 新潟市新光町4-1

新潟県総務部県史編さん室

☎ 025-285-5511 (内2101)

申込方法

はがきに住所、氏名、購入巻名、冊数、電話番号などを書いてお申し込みください。

十日町高校定時制課程

生徒募集

募集定員 普通科 40人

学力検査 3月16日(水)

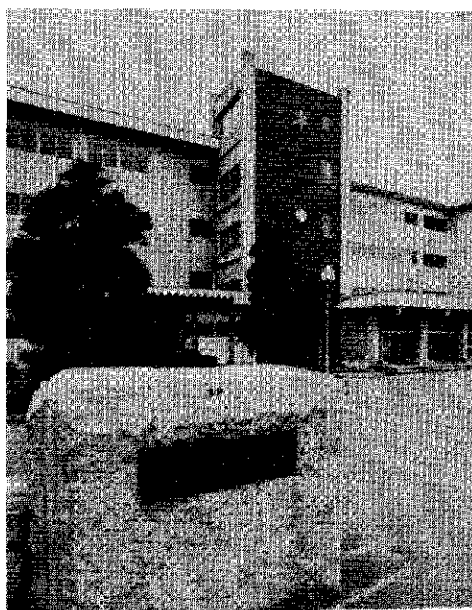
検査教科 国語、社会、数学、理科、英語の5教科

出願手続き 入学願書と受検票を
中学校長～高校長へ
提出する。

受付期間 2月8日(月)～2月
15日(月) 正午まで

十日町高等学校定時制課程

☎ 52-3575



ガイド

情報

停電のお知らせ

2月10日(水) 午後1時半～4時半
中仙田、室島の各一部

心配ごと相談

1月13日(水) ……橋コミセンター
20日(水) ……克雪センター
27日(水) ……総合センター
2月3日(水) ……上野コミセンター
10日(水) ……橋コミセンター
時間は、午後1時～3時です。

移動交通事故相談

2月1日(月)
十日町市役所
受付は、午前10時～午後2時

休暇の工面がカギ

♡ 僕は、長距離運輸の仕事なので、昼夜二十四時間のローテーション勤務が組まれています。彼女の休日時間とかみ合わず、デートのプランに四苦八苦しました。仙台や大阪から電話をか

♡ 彼のスキーの腕前は素晴らしい、二人で十五回も滑りました。きらめく夜景の中でのナイトスキーはとてもいいムードで、寒さなんか全然感じませんでした。

♡ 僕の職場の上司と彼女の職場の上司が、ご夫婦だったことから、話が進みました。一年半前、そのご夫婦の取り持ちで、湯沢へ春スキーに誘ったのが、こののはじまりです。

スキーが取り持つ縁

長距離トラックから 愛のテレパシー

(十日町市から)

♡ 小林 隆一さん
♡ 恵さん



ハッピー
がっぷる

⑮



♡ 家族や周囲の方からよくしていただき、とても暖かい雰囲気です。私も頑張らなくては。そしてスキーの方も……。これからは、思い出も二人でひとつです。

♡ 家族や周囲の方からよくしていただき、とても暖かい雰囲気です。私も頑張らなくては。そしてスキーの方も……。これからは、思い出も二人でひとつです。

一層安全運転に心がけて

♡ 新婚生活は、すれちがい夫婦です。でも、両親がよく彼女を助けてくれるようで、安心していきます。仕事柄「明るく仲よく家庭の和」を心がけています。

戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

南雲 革 浩 要子 長男 寺尾

高橋 淳一 賢一 長男 中屋敷

須藤 雅人 幸男 長男 野口

桑原 勝太 秋男 長男 米町

中村 広伸 庄平 三男 大白倉

田中裕美子 了介 長女 仁田

おわび

去年十二月号本欄で、三人の方の続柄がまちがっていました。次のとおり訂正します。

星野 都子 秋夫 二女 根深

五十川 裕 雅幸 二男 沖立

中村 琴美 吉美 長女 仁田

たかさご—円満に

野澤 正春 野口

光森 秀美 神奈川県から

川崎 俊彦 学校町

竹野内 立子 新潟市から

登坂 一夫 岩瀬

上村 久子 十日町市から

田口 久夫 木落

佐藤 羊子 十日町市から

大海 仙之 霜条

高橋 正利 伊友

関谷 千勢子 栃木県から

小海 敏浩 小根岸

中田 あかね 秋田県から

小海 敏昭 小根岸

槻館 千鶴子 岩手県から

昇天—ごめい福を祈る

江口 俊三 52 (本人) 小白倉

和久井 仁吉 62 (関二) 木落

星名 勇吉 76 (邦夫) 伊友

小林 マサ 76 (正治) 中仙田

相崎 興作 83 (克巳) 学校町

田中 ロク 83 (二二) 小白倉

小林 猪作 84 (義幸) 中仙田

羽鳥 徳三郎 91 (又二) 伊友

丸山 周作 95 (康二) 原田

新年俳壇

太田白南風選

《特選》

初明りいま神山の莊嚴に

川西から望む越後三山は四季美しく心の支えとなっている。

いまその神の山と崇むる三山が明け初むる。新年という敬虔な心で作者は神として拝んでいるのである。

三領 水品 律

《推選》

茶畑の光のほのと初明り

しずかなる四五戸の村の初明り

今越える上越国境初明り

わが家の妻の味なる雑煮かな

八十路なる母の小部屋の鏡餅

所沢市 池上マサ子

発電所通り 小川 京子

岩 瀬 小川 益栄

小 脇 佐藤 信一

中島町 相沢 鈴江

《入選》

野口 野沢 寅生

三山に向い柏手初明り

一徹で通した父の節白

赤谷 登坂 紅葉

八海の陵線高き初明り

雑煮の具多きがよしと言え父

中仙田 左 木人

幸せに老いて新居に雑煮餅

夕霧の中お降りの雨が打つ

野口 村越 カウ

数々の具の味うまき雑煮かな

短冊に切りし大根雑煮の具

赤谷 登坂 酔月

寂びれゆく里の静けき初明り

老いぬれど忘れぬ遺影雑煮膳

手を曳かれ来し神前や初明り

家族皆揃うめでたき雑煮かな

発電所通り 小川 京子

黒シヨールさらりとときて年賀かな

白鳥の静かなうねり初苗

所のぼのと玻璃戸を染めて初明り

雑煮餅祝う六十路も半ば過ぎ

小脇 佐藤 信一

初明り鴨二三いる洪海川

三領 高橋 たかし

雑煮餅古式尊び明治人

鐘鳴りて年新しく初明り

新町新田 井川 亘

初明り暗きお宮も賑わいて

仁田 和田 耕一

新町新田 渡貫 信治

聞えくる鐘を合図の初詣り

大倉 中条 石平

紅の空の開きし初明り

伊勢原市 金子 桂吉

雑煮餅祝う山家のいろり端

霜条 大海 正夫

豊年の野菜も豊富雑煮餅

守口市 大久保 正作

幼なごる母の雑煮をなつかしむ

下平新田 清水 きよし

初苗三山くつきり隈どりぬ

枚方市 和田 みのる

所のぼのと鎮守の森の初明り

選者近詠

悠久の刻流れつ、初明り

雪原の白清浄や初明り

めでたさの大冬晴のお元日

奉る大蠟燭や去年今年

初売りの大福袋抱へ来る

